広報かじき

No.247
昭和51年 1
発行／加治木町
編集／総務課

一年の計は元旦にあり

今年は辰年です。
みんなが健康で、明るく、平和で、
話し合える町づくりに努力しましょう。

■メモ　人口／20,706　男／9,803　女／10,903　世帯／6,562　（50年12月1日現在）

〔昭和50年度〕

上半期の財政事情

もっとほしい国からのお金

十二月に、昭和五十年度の上半期における財政事情が公表されました。

町の財政（台所）がどのようにして、まかなわれているか、どのような事業で、その事業のためにどれだけの町債（借金）があるかなどについて中間の報告をするものです。

本紙ではその主な部分を要約して掲載しました。詳しく知りたい方は町役場に資料がございます。

上半期に三回の補正

昭和五十年度の当初予算は、十三億三千百九十九万四千円でしたが、四月から九月までの上半期に三回、予算の補正を行いました。このため予算額は十四億七千三百三十一万五千円となっています。

上半期における収入と支出の状況は、次のとおりです。

■収入済み額

七億九千五百六十二万二千円（収入率五四・〇パーセント）。

■支出済み額

六億六百七十七万八千円（支出率四一・一パーセント）。

町独自でまかなえる財源は四割あとの六割は国・県からもらう財源

歳入予算のうち・町独自でまかなえる自主財源は、五億九千四十万八千円で残りの八億八千二百九十万七千円は、国や県などからもらう依存財源です。

したがって加治木町の財政（台所）は、自主財源四〇パーセント、依存財源六〇パーセントでまかなわれていることになります。（図表1）

税負担一人当り年間一万八千八百二十一円（内上半期は一万二百九十二円）

次に町民の税負担の状況は、本年度の予算規模のうち四分の一が、町税によってまかなわれています。

年間の町税の額は、三億七千七百八十万四千円です。これを町民ひとりあたり、一世帯あたりに計算しますと、税負担は次のようになります。

一世帯当り　五万八千五十二円
一人当り　一万八千八百二十一円。

また上半期における町税の収入済み額は、二億六百五十九万八千円で、これを町民ひとり当り、一世帯あたりに計算すると次のとおりです。

一世帯当り　三万一千七百四十五円。
一人当り　一万二百九十二円

歳出については、性質別に大別すると、人件費▽物件費▽普通建設費▽補助費等▽扶助費▽公債費▽失業対策費▽繰出金▽積立金▽災害復旧費などとなっています。（図表2）

普通建設事業の内訳は

公営住宅建設事業（八戸分）三千四百七十五万四千円▽錦江小校舎増築二千九百五十三万円▽林道開設事業一千五百十八万一千円▽道路改良事業（西別府線）二千百九十万円▽交通安全施設整備事業八百四万円▽木田本通り線一千六百五十万円▽町道舗装事業一千万円▽高岡公園整備事業六百万円▽排水路整備事業五百四十万円▽防災行政無線整備事業四百十九万四千円▽交通安全対策事業三百十六万八千円▽側道買収三百八十八万五千円など。

町の借金七億八千万円

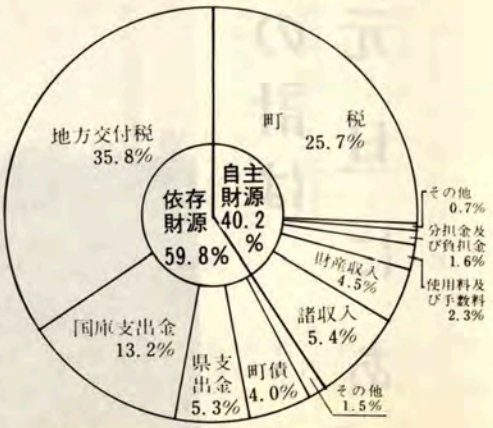
町がいろいろな事業をするために、国などから借りている町債は昭和四十九年度末現在で八億七百九十三万二千円ですが、五十年度中に借入れる予定額が五千九百三十万円、返還する額が七千九百十一万一千円あります。これを差引きますと、本年度末の現在高は七億八千八百十二万一千円となる見込みです。

これは町民一世帯当り十二万一千一百円、一人当り三万九千二百六十二円の借金となります。

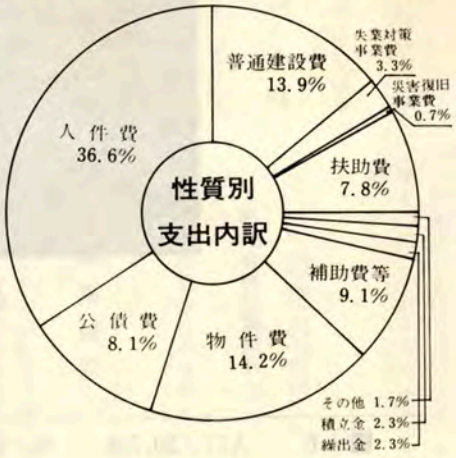
なお本年度、借入れ予定の町債の内訳は次のとおりです。

公営住宅建設事業債一千六百六十万円▽錦江小校舎増築一千四十万円▽林道開設事業三百五十万円▽道路改良事業五百十万円▽町道舗装事業七百二十万円▽高岡公園整備事業二百二十万円▽排水路整備事業四百万円▽防災無線二百十万円▽災害復旧事業二百六十万円などです。

図表1
昭和50年度歳入予算内訳（上半期）



図表2
昭和50年度歳出予算内訳（上半期）



二月一日から電報窓口が変更
夜間は局前の公衆電話を利用

加治木電報電話局では、二月一日から次のように、電報の窓口を変更することになりました。

○従来の電報受付け窓口を閉鎖。

○電報の受付けは、電話の営業窓口でします。

○窓口取扱い時間以外（平日午後五時以降、土曜日午後〇時三十分以降、日曜・休日）は、局前のボックス公衆電話から電報の発信ができます。

○一般の電話、赤電話は従来どおり電報の発信はできます。

※大安日、週末等は電報が大変こみます。日どりの決っているご結婚等のお祝い電報は、十日前から予約ができる、配達日時指定をご利用ください。

昭和49年度 決算の概要

公営住宅建設事業で出来た蔵王団地

昭和四十九年度の決算は、さる十一月に開かれた町議会で認定されました。

今回の財政事情の公表により、概要についてお知らせします。

一千万円の黒字決算

昭和四十九年度の決算額は、収入額が十四億四千七百三十二万三千円、支出額が十四億三千六百三十一万五千円で、別に財政調整基金として百万円を積立、その差額の一千一万八千円が黒字決算となっています。

収入額の内訳は、自主財源（町独自の財源）五億七千六百四十六万九千円で収入の三九・八％となり、あとの六十・二％は依存財源（国や県からはいる財源）八億七千八十五万四千円となっています

自主財源（町独自の財源）**には**

町税が三億三千三百五十一万三千円、繰越金六千七百九十四万二千円、諸収入八千三百三十五万一千円、繰入金四千三十九万八千円使用料及び手数料二千八百六十三万二千円などであります。

そのうち自主財源の五七・九％が町税で、昭和四十九年度の町税負担額は一世帯当り五万二千三百八十九円、一人当り一万六千八百五十八円となります。（図表1）

支出額の内訳は

普通建設事業費二億八千七百三十万二千円、災害復旧事業費五百四十九万円、失業対策事業費五千九百三十六万六千円、人件費四億七千五百八十五万二千円、扶助費一億十一万八千円、公債費一億二千二百六十八万六千円、物件費一億九千五百七十二万三千円、補助費等一億六千七百九万一千円、維持補修費一千二百三十五万九千円、投資及び出資金貸付金八百二十万五千円などであります。

支出の内訳は

人件費が支出全体の三三・一％を占めています。次が建設事業費の二四・五％、物件費の十三・六％となっています。

建設事業費の主なものは次のとおりです。

補助事業

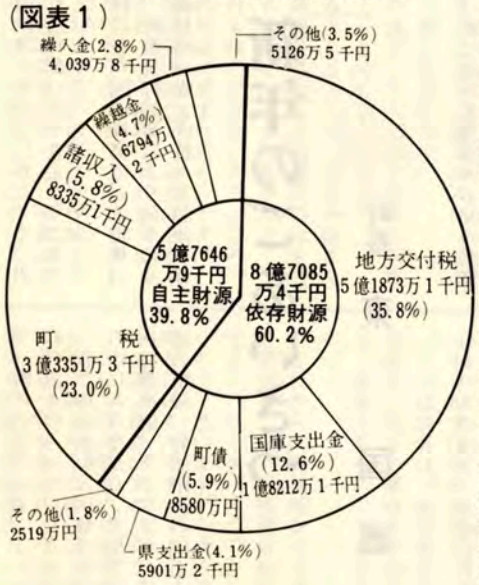
公営住宅建設事業（東蔵王団地）六千六百九十三万四千円、▽西別府線一千九百五十万円、▽木田本通り線一千二百万円、▽柁城小校舎増築二千五百七十八万円など。

単独事業

高岡公園九百二十九万五千円、▽町道舗装改良二千百一万七千円▽町営グラウンド整備一千九百八十五万七千円などがあります。

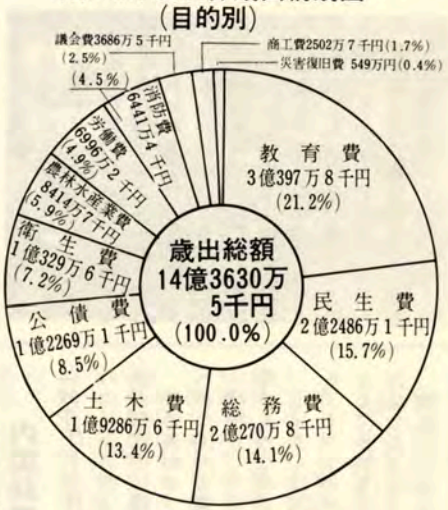
昭和49年度決算歳入構成図

（図表1）

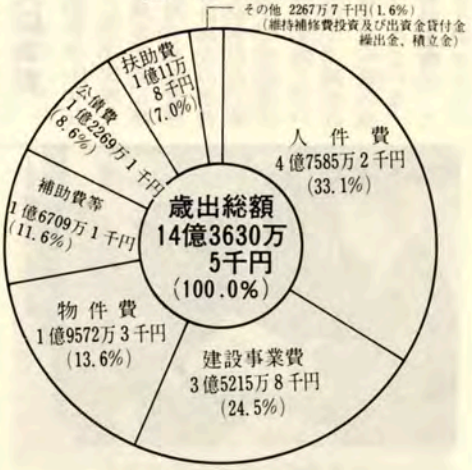


昭和49年度決算歳出構成図

（目的別）



（性質別）



建設事業の錦江橋歩道橋

町内地区対抗駅伝
優勝は錦江一地区

町内地区対抗駅伝競争は、十二月七日八チームが参加、鹿児島学園前から木田の塩田提防を別府川まで折り返し、十区間二十四キロのコースで健脚を競いました。

【成績】①錦江一1時間34分03秒②竜門1時間36分42秒③城西1時間36分47秒④城北⑤錦江三⑥城東⑦永原⑧錦江二

【区間賞】一区市原竜治（城西）▽二区隈元修二（城西）▽三区原口三幸（錦江一）▽四区田中　満（錦江二）▽五区折田秀三（城東）平川　学（錦江一）▽六区田中徳見（城東）▽七区六反郁代（錦江三）▽八区村山隆弘（城東）▽九区田中孝見（城東）▽十区佐脇邦江（城東）。

新年のごあいさつ

町長　東　国雄

町民の皆さんあけまして
おめでとうございます。

輝かしい昭和五十一年の新春を迎え、まずもって皆様のご健勝を心からお祝い申上げます。また昨年中は、ひとかたならぬご協力をいただきましてありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願い申上げます。

さて、過ぎ去った昭和五十年を顧みますと、国の内外を問わず、政治経済のすべてにわたって、大きく揺れ動いた不安定な年でありました。

特にわが国の経済は石油危機以来、総需要抑制策により従来の高度成長から安定成長へと急速に移行、更に海外先進国の不況の影響も加わって極めて困難な状態となり、国も地方も、企業や団体も、そして個人も、それぞれの面で大変な年であったと思います。

しかし、このきびしい情勢の中で、町民の皆さんも、よくそれぞれの道をひらいていただきました

我が加治木町は困難な社会情勢の中にありながら、大型空港、九州自動車道、そしてまた、加治木港の整備、岩原附近の国道十号線バイパスの竣工、各種公共施設等の整備など南九州の陸海空交通の要衝として進展し、人口も五、六年前の一万八千人から往年の二万人を突破して二万九千七百七人に達したことは、まことにご同慶にたえない次第であります。

これひとえに国県関係機関のご配慮は無論のこと、町民の皆様がたの、平素からの町政に対する並々ならぬご理解とご協力の賜物でありまして、心から厚く感謝申し上げます。

このような発展途上の新年を迎えるにあたり、私は更に決意を新たにして、町民皆様の生甲斐と希望を託されるに足る、豊かにして明るく、清潔で住みよい、加治木町の建設に精進努力して参る責務があると存じます。

また、わが加治木町が真に理想的な近代都市として発展するには町民皆様の、日常生活に直結した公共施設の整備充実、交通事故防止、社会共同連帯意識の強化等、極めて緊要な課題であると思われます。

ついては、このような観点から町民総親和のもと、産業経済、交通文化の発展の基盤となる町道、街路、住宅、上下水道、公園、清掃施設の充実等、町民の日常生活に直結した施策、更には健康で文化的な生活を享受することができるよう教育施設の整備、社会福祉の向上の諸施策、公害、交通事故の除去等、生活の場を整備するとともに農商工発展の施策を推進し近代都市基盤の確立に最善の努力をして参る所存であります。

町民の皆さん、本年も町政に対するご理解をいただいて、より倍旧のご支援、ご協力を賜わるようお願い申し上げ、ご健康とご多幸を祈って新年のごあいさつといたします。

叙勲おめでとう

勲四等旭日小綬章

川野平二さんに

十一月三日「文化の日」に政府は、恒例の「秋の叙勲」を行ないました。叙勲、賜杯をうける人は各界で永年活躍され、功労のあった三千四百五十二人です。

鹿児島関係では五十八人、そのうち当町からは、国の治安に貢献された小山田の川野平二さん(七〇)が勲四等旭日小綬章の叙勲をうけられました。

川野さんは、大正十五年台湾で巡査となり治安業務に専念、民政官などを得て終戦。

戦後は奥さんの実家である加治木の小山田に引揚げ、昭和二十二年鹿児島地方検察庁に入り、県内の各支部で活躍、昭和四十二年の十二月定年退官、現在司法書士として活躍中。

今回の叙勲について、川野さんは「ただいっしょうけんめい、自分の仕事を忠実にやっただけですいろいろと苦しいこともありましたが、精いっぱいやったことが認められたんですね。これからの若い人は恵まれているから、もっとがん張ってもらいたいです」といつまでも年を思わせない、人なつこい微笑で苦労話しをしてくださいました。

叙勲おめでとうございます。

日木山の山元さん
内閣総理大臣表彰

十二月十六日町長室で、日木山の山元吉之助(七二)さんに、総理大臣表彰状の伝達表彰がありました

この表彰は、昭和四十九年度行われた国の労働力統計調査の事務に精励し、その成績がきわめて優秀であったので贈られたものです

山元さんは国、県が実施している、すべての統計調査に、調査員として十数年間協力され、県の統計協会長表彰などもうけている。

同氏はこんどの表彰を機に、これからもできるかぎり調査について協力していきたいと話していました。表彰おめでとうございます。

伝達表彰を受ける山元さん

話題あれこれ

通産大臣表彰を受く
二見康洋さん（竹下）

十二月九日、隼人町で開かれた県の統計調査説明会の席上で、模範統計調査員の表彰が行われ、市町村職員として、当町の二見康洋さん（三五）が姶良、伊佐地区からただ一人通産大臣表彰をうけました。

この表彰は、毎年実施されている通商産業省の生産動態統計調査で、多年にわたりこれに従事し、かつ、いちじるしい功績をあげ、他の模範と認められたとして贈られたものです。

図書貸出し一万冊め
西富さんらに記念品

町立図書館では、図書の館外貸出しをしていますが、今年も四月一日から貸し出された図書が一万冊となり、十二月十八日午後一万冊目の人とその前後の人に、記念品が贈られました。

幸運の一万人めは、本町の西富さとしちゃん（二八つ）でした。

さとしちゃんは、毎月お姉さんの菜穂子ちゃんと何冊かの本を借りては見ているお得意さんで、この日も姉弟でかりにきたところ、この幸運に恵まれたものです。

隈原図書館長が、記念品を贈られると「どうもありがとう」と、いかにもうれしそうでした。

なお前後賞の前賞には柁城小二年の西富菜穂子ちゃん。後賞は上木田の城　正清さん（七た）でした。

児童・生徒の学力向上に
視聴覚教育協議会が発足

一市十一町でつくられる、広域の姶良地区視聴覚教育協議会、発会式が十二月十三日町福祉センターホールで行われました。

この協議会は、姶良地区の視聴覚教育に関する事務を共同で管理し、実施するためにできたものです。

これからは視聴覚ライブラリーに関することや、視聴覚教育に関することなど大いに活用されていくものと思います。今後の発展を期したいものです。

協議会役員は次のとおりです。

会長＝寺崎豊志（加治木町教育長）▽副会長＝小松清吾（隼人町教育長）▽事務局長＝中元邦夫（加治木町教委庶務課長）

第25回県畜産共進会
加治木町は良い成績

第二十五回県の肉畜共進会は、十二月十七日から十九日までの三日間、鹿児島市和田町に各市郡から選ばれた牛七十七頭が出品されて開かれました。

姶良郡からは十頭が出品（内加治木が五頭）上位入賞をかざりました。（加治木町の入賞者）

【牡牛】▽優等＝市野親義（小山田）六九二キロ▽一等＝増田　新（木田）六九一キロ

【牝牛】▽一等＝市野親義（小山田）六二五キロ

【去勢理想】▽優等＝穂満　茂（木田）六九六キロ、下楠園正昭（木田）六七一キロ

本町の出品牛については、素牛選定、飼料給与ともに好評でした

町内ロードレース
大会で全員が完走

第七回町のロードレース大会は総合グラウンドに三百人が集まり盛大に開かれました。

この日はあまり寒くもないレース日和で、グラウンドから海岸提防へのコースを全員事故なく完走今回は小学一、二年の低学年も参加、あたえられた距離を立派に完走しました。成績は次のとおり。

■小学生低学年（男子）①岡元雅司②垣内　英（女子）①楢松みよ子②中西理恵▽小学生中学年（男子）①東　俊治②中村雅敏（女子）①福崎英子②村山和代▽小学生高学年（男子）①村山高弘②内村浩二（女子）①和田光子②北園ひとみ▽中学生①隈元修二②田中徳見③内村司▽高校①市来原竜治▽一般①田中高見②信時忠明③園田英実

町連合婦人会

賀　正

（婦人会だより）

あけましておめでとうございます。会員の皆様には、お揃いであたらしい年をお迎えになったことと存じます。

これまで高度成長の夢に酔い、使いすてになれていた私たちが、限りある資源の再認識をせまられいやおうなしに節約の時代へと移り変った昨年でしたが……。

ことしこそは婦人の手で新しい生活方式を生み出し、築き上げていきたいものです。

「原始、女性は太陽であった」という言葉の通り、私たちは家庭の中でも、地域社会に於いても、光り輝く太陽になろうではありませんか。

今年もすばらしい婦人会となりますよう、ご協力お願い申し上げます。

十二月の行事から

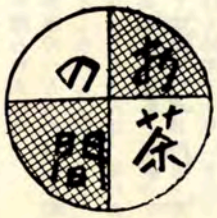
□正月用品一括購入

よい品物を少しでも安くと、例年の通り共同購入しました。業者の方のご協力で良い品物を入手できたつもりですが、皆さまいかがでしたでしょうか。一括購入についてのご意見ご希望をお待ちしております。

□古紙回収

二十二日実施・皆さま方のご協力ありがとうございました。

今回も野間さまに大変おせわになりました。今後ともよろしくお願いいたします。



□歴代役員との懇談会

加治木町連合婦人会発足以来、ご尽力いただきました先輩の皆さま方と、今年度の常任委員との懇談会を三日、大熊で開催。

お亡くなりになられた、先輩の方のご冥福をお祈りしたあと、懇談に移りましたが、先輩の皆さまの暖かいはげましに力づけられ、あらたな勇気がでてまいりました。

これからもご援助たまわりますようお願い申し上げます。

□ふるさと学級

二十二日「郷土のお正月料理について」

町内で古くから伝えられてきたお正月の料理を、曽木ヒデさんから教えていただき、そのいわれについて、曽木隆輝前町長の楽しいお話しを伺いました。

お正月料理だけではなく、私たちの周囲には、生活の中にとけ込んでいる行事食が、数多くありますが大切に伝えていきたいものですね。

今後の行事予定

▽一月二十一日…「史跡めぐり第二回」

▽二月十八日…「郷土料理実習」

▽三月十七日…「閉校式」

〝明るいくらしのために〟

○生活の簡素化を婦人の手で

時の流れとは申しながら、世の中万事ぜいたくになって参りましたが、もうこのあたりで考えなおさなければならないときが、来ているのではないでしょうか。

そこで、私たちは次のような事を実行しようではありませんか。

一、冠婚葬祭の簡素化をはかり、お返し廃止運動をすすめましょう。

一、計画的な買物をしましょう。

一、資源を大切にしましょう。その手段の一つとして、再利用に努力しましょう。

○三ない運動

ちらさない・よごさない・こわさない

この三つの言葉をいつも心掛け自分自身だけではなく、社会全般に広めて明るい社会を築いていきたいものです。

竜門句会

枯葉鳴る六十路の吾の心音か　恒吉　斗南

ささやかに生けるしるしぞ賀状書く　井之上透山

崩されて岩山峨々と鷹舞へり　是枝　快春

片手袋脱ぎて書き足す旅だより　横山　江南

ストの駅静かに暮れて灯の寒く　曽木　柳田

母の織る機の音にも師走かな　田代　俊一

小春日や火山灰も東に棚引きて　伊丹　司朧

石塀に尻揃えたり冬漬菜　松永　愛子

雲低く海の暗さや時雨来て　中山　待香

秋桜石垣高く埋れ住み　渡辺　水鶏

谷あい行く白亜点在す君の住み　永田　禾陽

ゴム長に雫余子降り入る山路かな　宮服　思川

紅葉せる街路樹町を改めし　奥原　圭児

身軽さに訪ふ秋の地獄沢　鶴田　耕

乳幼児の医療費を助成

請求は早目に!!

町では、昭和四十八年十月から乳幼児の医療費の一部を助成しております。

これは乳幼児の病気を早く発見し、早く治療するとともに、健康の保持を増進させるため、町が実施するものです。

○**対象**……六歳未満の乳幼児

○**助成金額**……病院等で支払った医療費の一か月の合計額から二千円を差し引いた額。

但し社会保険等の医療費の払いもどしがあるときは、その分も差し引きます。

○**請求期間**……診療を受けた月の翌月から六か月間。

詳しいことは町の福祉課へ。

お年玉はがき当籤者

賞品の引換えは早目に

年賀はがきのお年玉抽せんは、一月十五日に行なわれます。当せん番号は全国の郵便局に掲示するほか、報道機関を通じて発表されます。

なお当せん者の賞品引換えは、一月二十日から七月十九日までです。はがき持参のうえ最よりの郵便局で行います。

たばこは
町内のお店で
買いましょう

税に関する作文募集

向江さんら五人を表彰

加治木税務署が、さきに募集した「税に関する作文」に、管内から三四七人の応募がありました。

この中から加治木町内の中学校で、次の方がたが表彰されました

加治木税務署長表彰

▽向江　緑（永原中三年）
▽田代明子（　同　三年）
▽大宮路絹代（同　三年）
▽荻野雅子（加治木中三年）
▽宝蔵洋子（　同　三年）

『税について』

永原中　三年　向江　緑

私達の部落では、毎月二十五日の夜に公民館に集まって「税寄せ」というのを行っている。そこでみんなが税金を納めるわけだが、私は、毎月「今月は町民税、今月は固定資産税、保険税だ」などと言いながら、お金を持っていく父を見て何とも思わなかった。

しかし、最近になって、なぜわざわざ税金を納めるのだろうかと疑問に思うようになった。ところが、七月のある日、加治木税務署の方が学校に来られて、税についてのパンフレットをくださった。そのパンフレットには、税金の使われ方や、税金の種類などが書かれている。

まず、支出の面で一番多いのが「社会保障関係費」で、二兆八千九百八億円である。「社会保障関係費」の中でも、社会保険費が半分以上をしめている。社会保険があるおかげで、私達が病気やけがをした時に、安い費用で十分な治療ができるわけである。私達のためには、とてもありがたいことである。全ての国民が加入しているということだが、もし加入していない場合は、多額の費用を出して、治さなければならないのである。そうなれば、とても大変なことである。

次に多いのが「公共事業費」で二兆八千四百七億円である。その中で最も多いのが、道路整備費である。私達が毎日通る道路も、全部といっていいほど舗装されている。私は自転車通学なので、舗装道路にはとても感謝している。そんな舗装工事のために、多額の税金が使われているのである。

三番目に多いのが「文教、科学振興費」である。その中でも、私達、義務教育のため、義務教育費国庫負担金というのが最も多い。

生徒一人当りの教育負担金額が小学生の場合十五万八千円、中学生が十七万七千円、高校生が二十万九千円となっているが、これは四十九年のパンフレットなので、五十年度は、もっと負担額がふえるだろう。

これまでが税金の三つの大きな使われ方である。

次に、税金の種類を見てびっくりしたことがある。それは、私達が日頃楽しみながら使っているトランプにも、税金がかかっているということである。私が今、トランプを買ったとすれば、私も税金を納めたことになるのだ。映画や演劇が行われている場所に入る時にも、入場税という税金があるそうだ。その入場税は、誰がどんなにして集めるのだろうか。まだほかにも、砂糖やたばこ、自動車、テレビなど、税金がかかっていないものがあるだろうか。考えれば考えていくほど「税金というのはややこしいし、また私達の生活に欠かすことのできない、大切なものだということが、少しずつわかってくるようである。

だから国民はみんな、このような税金の使われ方や、納税のしくみ、金額などについて、もっともっと関心を持って見守り、私達の生活がよりよくなるように納入しいわば負担金を出し、多くの収入がある人は税金もたくさん出し、病気や生活に困っている人達にはそれに応じた金額を負担するようにしなければいけないと思う。

税金があってこそ、私達の幸福な生活が成り立ってのである。

私達の毎日の生活と税金とは、切っても切れないつながりがあるこのようなつながりが切れたら、私達の生活はどうなるだろうか。税金はありがたいものだ。私はこれからも税金のありがたさを、忘れないようにしていこう。

今月の納期　町民税（四期）・保険税（五期）

県作品・記録展

県議会議長賞に鳥飼貴之くん

県がさきに行なった、第十八回鹿児島県児童、生徒作文コンクールと第二十六回図画作品展および理科研究記録展に、当町の小学校中学校からたくさんの作品が入賞十月初め入賞者に賞状と賞品が贈られました。

入賞者は次のとおりです。

【作文の部】

▽特選＝ふくもりまゆみ（柁小一）柴田　聡（柁小四）荻迫英典（柁小五）花牟礼透（加中一）
▽入選＝しぶやともみ（柁小一）のぶときしょういち（錦小一）松元たけし（柁小二）うつのみややす子（柁小二）相原　剛（柁小二）勝目恒尚（柁小六）大石由美（錦小六）幾留香代子（加中二）米沢和子（加中二）新蔵信彦（加中二）

【図画の部】

▽特選＝絵画吉村さつき（加中一）
▽入選＝梅木俊博（柁小一）西森正（永小六）デザイン吉村さつき（加中一）堂崎隆一（加中一）中村信也（加中一）川越　修（加中一）下楠園昭子（加中二）

【理科研究記録】

▽県議会議長賞＝鳥飼貴之（錦小四）
▽特選＝樋口なお子（錦小二）
▽入選＝かながわまさよ（柁小一）原田秀隆（柁小二）森木久博（錦小二）郡山よとし（錦小二）神宮まなみ（錦小三）

飼料作物を作りましょう

最近、飼料穀物は、国際的に需給が不安定になってきております。このような中で畜産の経営はますます深刻になります。

そこで今後は、畜産経営の安定をはかっていくため作付の推進をし、作付増加された面積に対して補助金をだしています。おおいに飼料作物をつくりましょう。

補助対象飼料作物は次のとおり

■飼料作物生産振興対策事業

▽夏作物（青刈とうもろこし、青刈ソルゴー、ローズグラス、飼料用かぶ、テオシント、シコクビエ、ネピアグラス、飼料用甘藷）

▽冬作物（イタリアンライグラス、青刈えん麦、青刈ムギ、レンゲ）

▽永年作物（オーチャードグラス、チモシー、トールフェックス、バヒアグラス、アカクローバー、シロクローバー、ラジノクローバー、アルファルファー、ネピアグラス）

■水田裏飼料作物生産振興対策事業

▽水田冬期の利用として、水田裏に飼料作物を作付し、その増加した面積に対して補助金を交付する。

▽前の冬作物と同じ

但し種子購入の証明書（領収書等）が必要です。

■飼料用麦をもっと植えましょう。

香典返しを寄付

香典お返しのかわりにご寄付をいただきました。厚くお礼申しあげます。

＝町社会福祉協議会へ＝

一万円　布越　古江　藤蔵（母エダ）
二万円　仮屋町　小川　正夫（母サト）
二万円　竹下　原口　末則（母ソメ）
二万円　布越　緒方　柿男（母キヨ）
二万円　新富町　玉置　功（長女妙子）
一万円　中川内　東木　重夫（伯父清次）
五万円　東諏訪　小田原且男（父　貢）
三千円　新富町　北村　一夫（父定市）
二万円　於里　加戸　フミ（夫四六）
一万円　仮屋町　寺師　弘枝（叔母枝元シナ）
一万円　麓　宮島　政男（母キリ）
五千円　茶碗屋　川原　良子（父秀雄）

＝町育英奨学資金へ＝

五万円　東諏訪　小田原且男（父　貢）

▼十二月二十日までのご寄付を掲載しました。

一般特志寄付

＝町社会福祉協議会へ＝

三千円　加治木農業改良普及所長　山方正夫。

編集後記

なにか柔かい読物をと考えています折から、曽木前町長に回顧録をという声が高く、本月号からお願いすることとしました。必ずしも町政に、とらわれず思い出の記を書いてもらいます。ご愛読ください。

回顧録 ＝①＝

幼いころ

曽木隆輝

私は小学校にあがる前、ほとんど毎日、小山田に父が経営していた果樹園につれていかれた。もちろん歩いて城の坂経由だった、父は歩きながら二二が四、二三が六と九九を教えてくれた。

また小学校に行くようになってから、父から時々『平氏桓武天皇より出ず…』という書きだしの日本外史の素読を暗誦させられた。意味はわからなかった。父が山から空弁当箱に草苺や山桃をもって来てくれるのがうれしかった。

柁城小学校の時の校長さんは原田定吉という方だったが、病身だったらしく時々、人力車で登校して来られ、祝祭日ぐらいしかお目にかかれず、平生は緒方英吾という教頭さんが代行して居られた。

大正三年桜島爆発の時は、庭で夕食をとって、そのまま小山田に父母弟妹と逃げた。数日後帰宅して見ると灰が二・三十センチ積って飯碗なんか灰に埋れていた。小学校がそのころ改築になり、仮校舎は屋根もわらで、雨天の時は雨が黒板を流れて、文字は消えた。

小学五、六年の担任は、塩入の松永緑先生で、名前は女性のようだが、師範学校出たてで、厳しい方だった。一方ほとんど毎日中学入試の準備をしてくださった。お家も裕福だったので、月給はほとんど私たち受験生のオヤツ加治木まんじゅう代に充ててくださった。

小学一年のころ、鹿児島隼人間の鉄道が開通した。私は父母や弟たちと始めて鹿児島駅まで汽車に乗った、しかし鹿児島行きの大部分は港なる舌出から帆かけ舟で一晩かかって鹿児島に出かけた。代金は十銭ぐらいだった。

一番つらかったのは、毎朝五時ごろから一時間ぐらい、曽木豊二さんの所に示顕流のけいこに行くことだった。冬の朝などカチカチに氷りついた庭を裸足でかけ廻るのは足の感覚がなくなって終るのだった。五時少し前に行くと、門がしまっているのでこれ幸いと門前に〝かえります〟と地面に書いて早々に逃げ帰り床にもぐった。家は金もない生活ゆえ、おやつなんてたまに黒砂糖がひとかけら口にできればいい方だった。弁当のおかずだって、梅干しかつけ物粟の飯でどうかすると餅をやいて醤油をつけてもって行くことがあった。それでも腹いっぱいになった。戦争ごっこをしたり、渋柿の熟柿をさがすのが楽しみだった。

一月 在宅医

1日　神田橋医院②二〇二四
2日　壱岐医院②二二二二
3日　池田医院②二二二〇
4日　岩崎(昭)医院②二三一五
11日　大川医院②二〇三二
15日　玉利病院②二三二八
18日　平山医院②二四六八
25日　上妻医院②二四二一

■…診療時間は午前九時から午後五時までが原則です。

■…当日の往診ならびに緊急以外の受診はご遠慮ください。